2 情報・クリーン・有機

(1) 対象地域の現状(情報・クリーン・有機)

ア 普及情報の共有化

共有フォルダを活用した情報の収集・活用を進めている。技術資料や講習会資料等の共 有のみでなく、共有ニーズに応じた復命書や報告書、農薬資材情報等、所定フォルダを設 け共有を行っているが、あまり保存が進んでおらず、共有化の定着が必要である。

イ 外部への情報発信

農業者へホームページを活用した情報発信、普及活動PRを行っている。外部からの閲覧 状況は、令和4年度で約193,400アクセスであった。普及計画や実績のほか、技術情報、地 域のトピックス的な「地域の話題」などを公開している。令和4年度は「技術情報」34情報、

「地域の話題」59情報を公開した。継続したホームページの内容充実と積極的な情報発信が 必要である。

ウ クリーン農業・有機農業

クリーン農業では、YES!cleanマークを表示する北のクリーン農産物表示制度 (YES!clean) や、特別栽培、有機農業が取り組まれている。YES!cleanでは令和5年現在、15集団が登録 されている (表1)。平成28年以降新規申請はない。

十勝管内の有機JAS認証事業者数は、令和5年11月現在で74事業者である(表2)。

化学肥料や化学合成農薬を使用しない有機農業は、安心・安全を求める消費者から期待さ れるとともに、一般の農業者からの関心も高まってきている。

しかし、十勝管内においては、有機農業実践者が点在しており、それぞれ独自に取組を進 めているため、消費者、関係機関などの有機農業に関する認知度が低い現状にある。

また、収量・品質への不安、労働時間や資材費の増加、販路に対する不安などから、取り 組む農家数や有機農産物の生産量が少ない状況にある。

有機農業実践者および関心のある農業者の交流や生産技術、流通・販売に関する情報交換 等を目的とした場の設立を十勝総合振興局農務課とともに検討し、令和3年12月に「とかち オーガニック振興会」を設立した。企画検討員の農業者とともに振興会を運営し、令和6年 3月までに7回の研修会を開催する等、有機農業の振興に取り組んでいる。

農業者と消費者で構成された、自主的組織「十勝有機ネットワーク」では、消費者交流等 を中心に有機農業のPR活動に取り組んでいたが、現在は活動を休止している。

表 1 YES!clean登録集団数(R5年12月)

本所	東部	東北部	北部	西部	南部	合計
5	5	1	2	2	0	15
帯広市 1 芽室町 1 中札内村 2 更別村1	浦幌町 3 池田町 1 幕別町 1	足寄町 1	音更町 2	清水町 2	1	1

表2 有機JAS認証事業者数 (R5年11月)

本所	東部	東北部	北部	西部	南部	合計		
18	8	24	7	13	4	74		
帯広市 12 芽室町 4 中札内村 1 更別村 1	浦幌町 2幕別町 6	本別町 3 足寄町 20 陸別町 1	音更町 6 士幌町 1	新得町 5 清水町 8	大樹町 2 広尾町 1	ı		

A: ASIAGAP, J: JGAF

エ GAP・農場HACCP

表3 GAP認証取得 実経営体数 (R5年4月)

十勝管内全23農協で十勝型G

Pに取り組んでいる。	(うち畜産物 5)	(31、312)	(A 1, G 1)	(35番産物 1)	(31、31)	U	‡
GAP認証農家数は令和5年 月現在、耕種38戸、畜産8戸	帯広市 3 芽室町 16 中札内村 5 更別村 1	幕別町 12 豊頃町 1	本別町 2	音更町 3 士幌町 1	清水町 2	-	ı

となっている (表3)。団体認証は J G A P で令和 4 年度に取得した J A 幕別町レタス委員 会の1件である。

農場HACCPは民間のコンサルタントが関わり、一部で取り組みが進められている。新 たな動きとして、JAひろおが生産者の家畜防疫や衛生管理に対する意識向上を目的に令和 3年4月に農場管理意識向上推進事業を始め、農場HACCP、GAPの取組を推進してい る。民間のコンサルタントと連携した取組で令和5年11月までに3戸が農場HACCP認証 を取得している。

十勝管内では普及センター職員がGAPや農場HACCPの認証に携わる機会が少ない。

GAP認証や農場HACCP導入において、普及センターの支援体制構築と実践に向けた職員間の情報共有が必要である。

(2) 改善方向と対策(情報・クリーン・有機)

ア 普及情報の共有化

共有フォルダを活用した情報共有を行い、共有フォルダへの積極的な情報共有化の定着を 進めていく。

既存の情報共有項目に限らず、普及センター職員が日常の業務において必要だと考える情報共有ニーズを把握し、それに基づいた情報の共有を進める。また、所定フォルダへの保存が進まない原因を探り、改善に努める。

イ 外部への情報発信

農業者への情報提供や外部への情報発信について、ホームページの効果的な活用を進め、 積極的な情報発信を図る。

農業者に役立つ情報や普及センターとして周知したい情報など、掲載内容項目を再確認し、 より充実したホームページを普及センター職員で作り上げていく。

ウ クリーン農業・有機農業

クリーン農業への理解と取組の一層の拡大を図るため、YES!clean、特別栽培、有機農業の取組を支援していく。

とかちオーガニック振興会の取組を通して、点在している有機農業実践者や関心のある農業者の交流や生産技術等の情報提供および支援、さらには消費者や民間事業者、関係機関などを含めたコミュニティの拡大を図る。

有機農業事例調査の取組や関連する研修会への参加により、普及センターの支援体制強化を図る。

エ GAP・農場HACCP

GAP、農場HACCPに関する情報収集を行う。

GAP認証取得志向農業者等に対して、新規認証取得および認証の維持に向けた支援を行う。生産工程管理の確認や模擬審査等の現地支援を行う。

GAPや農場HACCP制度の把握や現地取組事例、研修会等を通じて普及センター内の 支援体制の構築と情報の共有を図る。

(3) 推進事項(情報・クリーン・有機)

推進事項		普及情報の共有化と外部への情報発信	環境と調和した持続的農業の推進		
主な活動目標		・普及情報の共有化の定着 ・ホームページを活用した情報発信、 普及活動 P R	・クリーン農業・有機農業・GAP・ 農場HACCPに関する情報収集お よび取組支援		
活	R 3 (実績)	・普及情報の収集および共有化の推進 共有フォルダへの情報蓄積。 ・ホームページの内容充実と積極的な 情報発信の推進 情報提供の実施(技術情報39、地 域の話題25)。	 ・有機農業実践者への支援 交流および研修の場の新設(とかちオーガニック振興会設立)。 ・GAP取組支援 更別農業高校JGAP認証取得。 ・情報共有と普及指導体制の構築 取組事例収集(7事例)。有機農業 研修会の開催(17名)。 		
動年次	R 4 (実績)	・普及情報の収集および共有化の推進 共有フォルダへの情報蓄積 (70件)。 ・ホームページの内容充実と積極的な 情報発信の推進 情報提供の実施(技術情報34件、 地域の話題53件)。	・有機農業実践者への支援とかちオーガニック振興会で研修会を開催(2回)。 有機農業者のPR活動実施。 ・GAP取組支援新規取組(1戸)と維持更新(1戸)、JA幕別町のJGAP団体認証取得。 ・情報共有と普及指導体制の構築取組事例収集(8事例)。有機農業研修会への参加(14名)。		
	R 5 (実績)	・普及情報の収集および共有化の推進 共有フォルダへの情報蓄積 (77件)。 ・ホームページの内容充実と積極的 な情報発信の推進 情報提供の実施(技術情報22件、 地域の話題86件)。 ホームページアクセス数21,016 件/月(前年度+5,690件)	 ・有機農業実践者への支援とかちオーガニック振興会で研修会を開催(3回)。 有機農業者のPR活動実施。 ・GAP取組支援新規取組(2戸)と維持更新(1戸)。 ・情報共有と普及指導体制の構築取組事例収集(7事例)。各種研修会への参加(21名)。 		
	R 6 (計画)	・普及情報の収集および共有化の定着 ・ホームページを活用した情報発信の 定着	・有機農業取組支援 ・GAP取組支援 ・各種情報収集		
	R 7 (計画)	・普及情報の収集および共有化の定着 ・ホームページを活用した情報発信の 定着	・有機農業取組支援 ・GAP取組支援 ・各種情報収集		

(4) 具体的推進計画 (情報・クリーン・有機) ア 普及情報の共有化と外部への情報発信

活動項目	支援 対象	活動内容と方法	担当者	連携機関
・普及情報の収集 および共有化の 推進 ・ホームページの 内容充実と積極 的な情報発信の 推進	普及センター職員	①本所・各支所での共有フォルダへの情報蓄積推進 (技術対策、報告書他) ②新たな共有情報ニーズの把握 	新妻専職	十勝総合振 興局 十勝農業試 験場

イ 環境と調和した持続的農業の推進

活動項目	支援 対象	活動内容と方法	担当者	連携機関
・有機農業取組 支援	農業者	①とかちオーガニック振興会での研修会を通した有機農業者への情報提供および支援 ②実践者・志向農業者への情報提供および支援	平田主普 髙橋普職	十勝総合振 興局、十勝 農業試験 験場、十勝 農業協同組 合連合会
・GAP取組支援	農業者等	①志向農業者への情報提供および支援 ②認証に係る現地支援	八木専主 東普職	
・各種情報収集	普及センター 職員	①取組事例収集と共有 (有機農業・GAP) ②各種研修会参加によるスキルアッ プ		